

学校だより

No.6 10月

深谷

令和4年9月30日

横浜市立深谷小学校

ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fukaya/>

家庭との連携

校長 石原 加代子

朝夕めっきり涼しくなり、秋の気配を感じます。授業参観では、教室の中での参観者を制限するために自主的に交代し、感染予防にご協力いただきありがとうございました。

昨年度の GIGA 端末配当後から、1人1台の端末を有効活用して情報活用能力の育成に努めています。授業参観では端末活用の様子をご覧いただいた学年もあります。いかがでしたか。学年や教科によって活用状況に差がありますが、体育で動画を撮影して動きを確認したり、図などを使って思考を可視化したものを整理して協働的に学んだりするなど、日常的に活用しています。発達段階に応じて指導していますが、操作の慣れ具合には個人差があります。例えば、文字入力では、音声で入力・平仮名表で入力・ローマ字で入力など様々な方法から、同じ学年でも自分で方法を選択できるようにしています。端末は有効な道具の一つですが、鉛筆で正しく書く力を育てる必要性も感じています。道具に振り回されないように考慮しながら活用し、「学習の基盤となる資質・能力」を育成していきます。

さて、全国学力・学習状況調査結果によると、放課後の過ごし方では、本校は全国や神奈川県に比べ、友達と一緒にゲームや動画視聴、SNS 利用をしている児童が多いこと、長時間デジタル機器を視聴していること、デジタル機器の使い方の約束を守る意識が低いことがわかりました。約束を意識し、よく考えて適切に行動できるとよいのですが、いつの間にか金銭トラブルに巻き込まれたり、心を傷つけたりしてしまふことがあります。私たち大人がしっかりと見守る必要があるのではないのでしょうか。学校では、GIGA 開きの際に安全な使用についての約束や情報モラルを指導し、その都度危険性にふれています。現時点では、端末を持ち帰らずに使用していますが、自分で操作できる端末を持っているご家庭もあるのではないのでしょうか。ご家庭においても、お子様と安全な使用のための約束を決めて、日頃から保護者の方が危険な使い方をしていないかを確認していただくようお願いいたします。学校と家庭が連携して、「自分の心や体を守る」「相手を大切にする」「情報の危険性を理解する」など、情報モラルをしっかりと育み、様々な危険から守り、適切な使用ができるようにさせたいものです。

また、放課後の学習時間は、短い傾向があります。調査結果を踏まえて、教職員は学習指導方法や支援を振り返り、学びの充実を図るように授業改善に努めています。与えられた課題だけでなく、「自分で予習や復習をしてみよう」「もっと調べてみよう」「難しい問題に挑戦してみよう」など、自己調整して主体的に学習に取り組む姿勢を育てていきます。学習においても、学校と家庭が連携することが大切だと考えています。ご家庭でも、学年に応じた学習習慣が身に付くようにお声掛けをお願いします。

さて、10月22日にはスポーツフェスティバルを開催する予定です。自己有用感・自尊感情を高め、大きく成長させる大事な行事の一つです。安全に実施し、目標が達成できるように最適な方法を検討しています。引き続き、地域の皆様・保護者の皆様の温かいご支援をお願いいたします。

